要望事項 要望内容	回　答	担当局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 「古屋敷橋」から西方に七北田川と並行する市道、加茂2丁目12番地北側には違法投棄ゴミが散見される。ごみ排出の注意喚起、パトロール実施など具体な手立てを講じること。 古屋敷橋開通後の交通対策について事故などおこらないよう万全な手立ての構築に務める。	ごみ違法投棄に関する注意喚起については、警告看板を設置している。パトロールについては、今後も引き続き行ってまいりたい。 古屋敷橋開通にあたり、交差点内のカラー舗装や防護柵の設置などの安全対策を実施したところである。今後、交通状況を見ながら、改善すべきところがあれば、対応していきたい。	泉区
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 歩行者の転倒の恐れがある街路樹による歩道の根上がり（野村から寺岡など）の解消を進める。	実況地区の幹線道路である市道・荒巻根白石線の街路樹（メタセコイア）の根上がり箇所については、令和2年度に街路樹の伐採を行い、令和3年3月より県道泉塩釜線との交差点以北の西側歩道から除根及び歩道の改修工事に着手している。今後、複数年かけて順次改修工事を進めていく予定である。	泉区
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 昨今の全国的な人口減少に伴い、泉区においても空き家対策を専門的な見地から解決に導くため、諸団体との連携強化を求める。 また、交通弱者対策、買い物弱者対策、ごみすて弱者対策、医療弱者対策 について解決するため区役所内に組織の構築を進める。	空き家対策の推進にあたっては、司法書士会、行政書士会、法務局、宅建業取引協会、土地家屋調査士、不動産鑑定士、建築士、老人福祉施設協議会、銀行、税理士、解体工事業、消防、警察、本市をメンバーとする仙台市空き家対策ネットワーク会議を平成29年に立ち上げて諸団体との連携強化を進めており、町内会や関係団体とも必要な連携を取りながら、空き家対策に一層取り組んでまいりたい。 郊外住宅団地・地域の課題解決にあたっては、当該地域の実情を把握しつつ、地元の方々の主体的な取組みを支援していくことが重要と考えており、地域の実情を把握している各区役所・総合支所と、国や民間の施策等の情報を持つ本庁各局が連携して対応してきたところである。区役所内の体制についても、部をまたがる課題については組織横断的な連携を図りながら、引き続き適切に対応してまいりたい。　【市民局】 買い物が困難な高齢者に対しては、介護保険サービスのほか、介護予防・生活支援サービス事業においても、生活支援訪問型サービスとして買い物の支援を行っているところである。 加えて、地域で生活する高齢者の日常生活上の課題を地域の支え合いで解決する必要が高まっていることから、住民主体の訪問型生活支援団体補助を実施するなど、生活支援コーディネーターを中心に諸団体との支え合い体制づくりの推進に努めているところであり、引き続き取り組んでまいりたい。	市民局 健康福祉局 環境局 経済局 都市整備局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 保健センターと連携した地域包括ケア体制づくりを図るとともに 要介護予防や健康づくり事業を区内全域のバランスに配慮し積極的な取り組みに務める。	高齢などにより、通院が困難な患者などの医療弱者対策については、現在、市医師会と連携を図りながら、在宅医療の普及啓発やオンライン診療の実証実験を行っているところである。 引き続き、医療弱者の利便性向上などに繋がる施策を検討してまいりたい。　【健康福祉局】 地域ケア会議等を通じ、区保健福祉センターと地域包括支援センターが相互に連携を図りながら、地域包括ケア体制づくりに取り組んでまいりたい。 また、介護予防や健康づくり事業についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた予防策を講じながら、地域の特性を踏まえつつ、区内全域においてバランスよく展開してまいりたい。	泉区
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 高齢社会に対応するため、高齢者の方々が家の外で触れ合える環境づくりを進め、ラジオ体操、ウオーキング、グランドゴルフなどの競技支援を進める。	地域において高齢者の健康増進、介護予防に資する活動を行っている老人クラブや介護予防自主グループへの支援を今後とも行ってまいりたい。 また、地域包括支援センターが行う介護予防教室等でのウォーキングなど、屋外の活動を支援してまいりたい。	泉区
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 高齢者・障がい者の移動支援の拡充や免許返納者への支援を進める。	運転免許返納者に対しては、年齢に関わらず宮城県タクシー協会による割引支援が実施されている。また、その他の民間事業者によるサービスもあることから、これらの活用に向けた周知を図るとともに、引き続き関係団体と連携し、効果的な優遇策の検討を行ってまいりたい。　【市民局】 高齢者の社会参加を促進するために実施している敬老乗車証制度については、今後、高齢化が一層進行する中で、今後も持続可能な制度とするため、制度のあり方について検討を進めるとともに、障害者の社会参加を促進するために実施している障害者交通費助成も含め、現行制度の安定的な運営に努めてまいりたい。　【健康福祉局】	泉区

要望事項 要望内容	回　答	担当局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 郊外の団地においては高齢化が進んでいる。 とりわけ各種選挙においては各投票所までもいけない有権者が散見される。投票所までのタクシー借り上げや移動投票所の新設など早急に課題解決にむけた取り組みを進める。	有権者の投票所への移動支援や移動期日前投票所の新設については、システムの改修を始め人員の確保などで多くの課題があると考えている。有権者の高齢化に伴う投票の支援等については、重要な検討課題であると認識しているため、今後も他都市の事例を注視するとともに、有権者への移動支援等について検討してまいりたい。	選挙管理委員会
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 避難所開設箇所の見直し。地震時と大雨時について避難所設置数、また高齢の方々が多いという現状から福祉避難所の活用や市民センターの活用の検討を進める。	避難を要する災害が発生した場合には、原則、市内の指定避難所を開設することとしているが、指定避難所を補完する補助避難所として位置づけている市民センターやコミュニティ・センターを地域での協議により活用することも可能である。 また、本市では福祉避難所として対応いただく社会福祉施設等と協定を締結しており、指定避難所や補助避難所等での生活が困難な高齢者等がいれば、施設の受入れ体制を確認の上、福祉避難所で受け入れていただくよう要請することとしている。 今後とも災害時要援護者が円滑に避難できるよう、区災害対策本部との連携を図ってまいりたい。	危機管理局 健康福祉局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 市民利用施設の備品は足腰に不安のある高齢者に配慮したテーブルやイスの配備切り替えを進める。	高齢者に配慮した備品の配備については、施設機能の確保に必要なものを基本として、利用者の皆様のご要望も伺いながら可能な対応をしてまいりたい。	市民局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 災害時に命を守るための小学生を対象とした防犯・防災教育の促進に務める。	震災の教訓を生かし、平常時における「防災」と、災害時における「災害対応」の双方の視点を踏まえて「自助の力」「共助の力」の育成を図る仙台版防災教育の推進は、重要なことであると認識している。各小学校においては、学校の実情や発達の段階に応じて、防災教育に取り組んでいるところであり、引き続き、各学校の取組みを支援してまいりたい。	教育局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 小中学生の地元町内会等の行事へ参加促進に努める。	町内会が、小中学生を含めた多様な世代が交流する場となるよう、令和元年度より全市的に開催している町内会役員担い手講座（令和2年度からは町内会活性化講座）などにおいて、それぞれの地域のニーズをとらえたイベント企画の重要性などお伝えしてきたところである。引き続き、各町内会において、幅広い層を巻き込んだ活動ができるよう情報提供などに努めてまいりたい。	市民局 教育局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 積雪量の多い西部地区は高齢化も進み、自宅前等の除雪作業に影響が出ている。住吉台、鶴ヶ足西部地区における、より適切な除雪車の運行を図るとともに、仙台雪道おたすけ隊の活用を進める。	除雪作業については、バス路線などを中心に区と連携しながら道路状況を的確に把握し、今後とも迅速な作業に努めてまいりたい。 また、門前除雪については、高齢化に伴う共助のための支援に向けて、仙台雪道おたすけ隊の加入促進に引き続き取り組んでまいりたい。	建設局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 黒字路線を失うことになり宮城交通バスは経営環境が一層きびしくなる。 路線バスの維持に関して対策の検討を進める。	東北学院大学泉キャンパス移転後においては、利用実態に応じた運行計画となることが想定されるが、大学・地域・交通事業者との意見交換は始まっており、引き続き大学側から示される移転計画や施設の利活用方針を受けて、宮城交通の考えを確認し、対応を検討してまいりたい。	都市整備局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 飲食店、物販店等をはじめ学生アルバイト不足も深刻になる。 商工会など区内商工業者と十分な連携に努める。	泉区内の飲食店や小売店等における学生アルバイトの人材確保の状況については、キャンパス移転に伴う影響等を十分に注視するとともに、商工会や地域の商店街組織等の商工業者と情報を共有しながら、必要に応じて対策に努めてまいりたい。	経済局
郊外住宅団地・地域の高齢化対策 アパート群も千戸単位で空室となることが予想される。空室地区の発生抑制策とともに泉キャンパス校舎跡施設の有効活用を当該地域と連携して取り組みを進める。	庁内関係部署や東北学院大学とも連携しながら、地元地域の声をお聞きするため、令和3年3月に意見交換会を実施し、大学からは引き続き泉キャンパス全体を所有し、体育の授業や課外活動で利活用することが示されたところである。今後も、移転後のまちづくりが円滑に進むよう、取組みを進めてまいりたい。	泉区

仙台市議会

令和4年 冬号

仙台市議会議員（泉区）

おのでら健

おむすびシートとともにこれからもみなさんの想いと市政をしっかりとつなぎます

1月21日に会派として、コロナウイルス感染症対応について郡和子市長に緊急要請をしました。
内容については以下の通りです。

仙台市長 郡和子 様　　令和4年1月21日
仙台市議会 市民フォーラム仙台　代表 小野寺 健

コロナウイルス感染症対応に関する緊急要請

1. 保健所業務体制の強化について
保健所業務にあたっては公表患者数の推移を踏まえ全庁からの応援にて対応することとしているが、指示報告体制など責任の所在を明確にするためマネジメントができる課長級の職員をあてるなど効率的な業務遂行にあたられたい。

2. 市民サービスの維持について
各局においてはBCP（事業継続計画）に基づき危機的状況下において確実に業務を遂行できるよう備えを万全にすること。

3. 宿泊療養施設の確実な確保について
宮城県は現在の1250室から最大時2600室を確保予定としているが施設の確保に困難が予想される。オミクロン株陽性者の特徴でもある無症状や軽症者の療養先施設の確保に向けて宮城県に対し強く働きかけたい。

4. 自宅療養者へのケアについて
自宅療養者等支援物品配送サービスの確実な実施に向け、第5波時の教訓をいかし配送体制のさらなる拡充をはかられたい

5. 12歳未満の子どもたちへのワクチン接種について
オミクロン株は若年層や子どもへの感染も多く見受けられることから、ワクチンの確実な確保はもとより保護者の不安解消に向けて早めの情報発信に努められたい。

6. 受験生への配慮について
陽性または濃厚接触者となった受験生が不利益を被らないよう本市教育委員会ならびに宮城県教育委員会と連携し対応に努められたい。

●おむすびシートならびにご依頼いただいている一部事項について途中経過のご報告

①北環状線（加茂1丁目交差点）から虹の丘方面の自転車通行空間の整備
▶令和3年警察との協議、設計を実施。

②泉ケ丘小学校通学路の安全対策
▶1月24日に自動車に対する減速を促す注意看板を設置

③加茂33号線（ヤマザワ跡地）の張り出し歩道の設置歩道設置工事について令和3年7月から8月落札業者との契約締結
▶12月上旬から組み立て歩道設置。1月11日から供用開始

④加茂幹線1号線道路改良工事
▶令和2年測量設計、令和3年電柱の移設と街路樹の伐採、令和3年度中に工事開始

⑤紫山地区歩道内に犬のふんの始末を呼びかける啓発看板の設置→完了

⑥紫山幹線3号線（セブンイレブン前）の街路灯
▶ランプを水銀灯からLED灯に交換（3月をめど）

⑦紫山公園の複合遊具等の破損修理・改善
▶6月24日（木）紫山公園の複合遊具およびベンチの点検により使用禁止。
修繕未定とのところ、紫山の方から連絡をいただく。
再度、検討していただいたところ、滑り台については令和3年度部分修繕し、2月7日に利用再開。令和4年度（8月）すべり面の全体改修。
ロープネットについては令和3年12月24日に修繕完了。
また、ベンチに関しては令和3年12月2、3日座板撤去、令和4年8月ごろ更新される予定です。

⑧コロナ感染症対策
陽性判定、濃厚接触者、PCR検査についてなどオミクロン全般について。

⑨その他

●令和4年度予算に係る要望

要望事項 要望内容	回　答	担当局
泉区役所経営・行財政改革 市民に身近な行政事務所である区役所の権限強化と財源委譲をさらに推進し、区の特性がいかせる事業を具体化させ、投資的予算を拡充するなど区独自予算の増額に務める。また、現状の区長裁量の予算規模については拡充を進める。	これまでも、区役所の機能強化いう観点から、組織体制の強化や区長裁量予算をはじめとする予算の拡充を図ってきたところである。 今後とも、地域の特性を生かしたまちづくりが進展するよう、本庁と区役所における役割分担の検討状況や地域の現状等を踏まえ、関係局区間で十分に意見交換を行いながら、適切な予算配分に努めてまいりたい。	財政局 市民局
泉区役所経営・行財政改革 情報発信の強化に向けて区広報、シティーセールス（西部観光）が連携できるよう組織の強化に務める。	泉西部観光については、泉区と連携しながら、多くの体験型コンテンツを発掘するとともに、その情報発信に努めてきた。 引き続き、泉西部地区の魅力発信に努めるとともに、区役所との更なる連携強化を図ってまいりたい。	文化観光局 泉区
泉区役所経営・行財政改革 AIやRPAなどICT技術による業務効率化の実現と業務量に応じた適正な人員配置に努める。	令和3年度は、令和2年度に導入したAIを利用した議事録作成支援システムやRPAシステムの活用を進めているほか、令和2年度末に導入したグループウェア作成ソフトの全庁的な展開を進め、業務効率化に取り組んでいる。令和4年度以降も引き続き対象業務を拡大しつつ、新たなICT技術なども活用しながら業務効率化に取り組むとともに、業務量を見極めながら、必要な人員体制の確保に努めてまいりたい。	総務局 まちづくり政策局
泉区役所経営・行財政改革 会計年度任用職員制度については勤務形態にかかわらず、公務員としての職責をはたし、能力を発揮できるよう十分な人事管理と運営に努める。	会計年度任用職員は、信用失墜行為の禁止や守秘義務などの地方公務員法上の服務規定が適用されることについて、採用時に周知徹底するとともに、公務員倫理・服務チェックシートを用いて法令の遵守や適正な事務処理の確保等に努めている。また、正職員の給料表を基礎としながら、本市での職務経験等を考慮した給与決定や期末手当の支給なども行い、従来の非常勤嘱託職員等よりも処遇改善も図ったところ。今後とも、本市行政運営の重要な担い手である会計年度任用職員制度の適切な運営に努めてまいりたい。	総務局
泉区役所経営・行財政改革 聴覚障がい者、視覚障がい者への情報保障のため、LINE、リレーフォン等を使用した窓口サービスの検討を進める。	現在、各区役所・宮城総合支所に手話通訳者を配置するとともにタブレットを設置し、主に聴覚障害のある方向けにコミュニケーション支援を実施しているところである。今後も聴覚・視覚など各障害当事者団体等へ意見を聴きながら、窓口での情報保障の充実について検討してまいりたい。	健康福祉局
泉区役所経営・行財政改革 区役所庁舎の再整備にあたっては敷地の有効活用も含めて泉中央地区の回遊性の向上・活性化に資する観点で早期の取り組むに務める。	泉区役所については泉中央地区に位置していることから、この地区の活性化や賑わいの醸成といった視点も大変重要であると認識している。令和2年度より継続して、泉区内の各種団体と意見交換を行う懇話会や、学識経験者等に専門的な見地から議論いただく事業者選定委員会を実施し、敷地の有効活用や泉中央地区の回遊性の向上・活性化に資する観点を踏まえた実施方針等を策定したところである。引き続き関係部署とも連携を図りながら進めてまいりたい。　【財政局・泉区】 泉区役所建替事業において、現敷地の一部を活用し、賑わい創出に資する民間開発を誘導するほか、地域関係者とともに区民広場等の利活用促進に向けた検討や試行的なイベントの開催など、庁舎建替えを契機とした地区活性化の取組みを進めてまいりたい。　【泉区】	財政局 泉区
子育て・子ども・教育 公立保育所において休日保育に取り組むよう努める。	本市では、限られた財源の有効活用の観点などから、保育の量的拡充についてはできるだけ民間の力をお借りして進めているところである。 休日保育については、引き続き、開設経費や運営費に対する助成制度を活用しながら、私立の認可保育所に実施を呼びかけることで充実を図ってまいりたい。	子供未来局

声をつなぐ　人と人をつなぐ　地域をつなぐ

要望事項 要望内容	回　答	担当局
子育て・子ども・教育 保育環境の整備現況について待機児童対策、いわゆる学童では定員超過など課題が多い。民間事業者の誘致や運営支援策に務める。解決に向けて早急に取り組みを進める。	既存の保育施設の有効活用による受け皿の確保や企業主導型保育事業の周知による利用促進など、保育需要への対応に向けた取組みを着実に推進してまいりたい。また、民間の保育施設等に対して市独自の補助を行うなど運営面での支援の充実にも努めていくところである。 児童クラブにおける待機児童対策については、余裕教室を活用したサテライト整備など、計画的な受け皿整備に努めてまいりたい。 また、民間事業者の参入を促すため、民間児童クラブへの支援の充実に努めてまいりたい。	子供未来局
子育て・子ども・教育 DVやいじめ、育児ノイローゼ、家族の孤立、教育虐待など子どもたちの命のリスクを十分に把握検証し、将来の仙台市の宝である子どもたちの命を守る取り組みを進める。	いじめが子どもの心身に重大な危険を生じさせるおそれがある決して許されない行為であるという認識の下、社会全体で子どもたちをいじめから守る意識の醸成を図るための広報啓発を行ってきたところである。さらに令和2年6月に仙台市いじめ等相談支援室S-KETを設置し、いじめに悩む児童生徒や保護者に寄り添った相談支援を行っている。今後も引き続き、子どもたちをいじめから守る取組みを進めてまいりたい。 また、区役所等の子供家庭総合相談窓口では、子育て家庭が抱える様々な課題に対する関係機関と緊密に連携し個々に寄り添った支援や、精神的な不調のある養育者に対する地区担当保健師による訪問、保健師等の専門指導員の派遣を通じた支援に引き続き取り組んでまいりたい。【子供未来局】 児童生徒が置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う、スクールソーシャルワーカーを配置・活用することで、引き続き、学校の教育相談体制の充実を図ってまいりたい。【教育局】	子供未来局 教育局
子育て・子ども・教育 児童相談所の機能強化と社会的養育の充実。児童虐待を防止し、子どもの安全の早期確保を保証する職員の適切な配置を進める。	児童相談所の体制・機能については、国の「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」に沿った強化を図り、職員の資質向上を図ってまいりたい。 また、令和2年度から区役所等に子ども家庭応援センター体制を構築し、職員を増員するなどして子育て家庭に対する支援体制の強化を図ったところであるが、引き続き適切な職員の配置に努めてまいりたい。	子供未来局
子育て・子ども・教育 貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちが将来に向けて自立の力を養えるよう、学習支援の充実を進める。	貧困の連鎖を防止するため、子どもの学習や居場所づくり等を支援することで、自らの生活や進路を考える力を育むことを目的として学習・生活サポート事業に取り組んでいるところであり、引き続き事業の充実に努めてまいりたい。	子供未来局
子育て・子ども・教育 児童館を利用した身近な地域における中高生の居場所支援を進める。	児童館における児童クラブ開設時間帯の三密回避を図るとともに、感染症対策を徹底の上、利用スペース等の工夫を行いながら、自由来館する中高生が利用しやすい運営に努めてまいりたい。	子供未来局
子育て・子ども・教育 妊婦出産の24時間、365日の相談体制の整備に努める。	24時間365日の相談体制は、資格を有する相談従事者の確保等の課題があるが、令和3年11月1日より、一定の開庁時間外については、SNSと電話により相談の機会を確保しており、引き続き妊産婦の支援に取り組んでまいりたい。	子供未来局
子育て・子ども・教育 多胎妊婦健診など多胎妊産婦の支援の拡充を進める。	多胎妊産婦については、妊婦健康診査の助成回数及び、育児ヘルプ家庭訪問事業における育児ヘルパーの派遣回数を単胎妊産婦より多くしていたところ、令和3年度より、多胎産婦の産後ケアの利用上限日数を拡充したところである。引き続き、多胎妊産婦の支援に取り組んでまいりたい。	子供未来局
子育て・子ども・教育 泉区にはいわゆるひきこもりといわれる方が多数いることが想定される現状どのような状況にあるのか把握し対策をたてるため調査等を行うなど必要な対応を進める。	ひきこもりは、家庭内の問題として潜在化しがちであり、正確に実態を把握することは困難であるが、本市には相当数のひきこもりの方々がいることを前提に、多機関での事例検討などを継続し、支援者の能力向上に努めながら、支援策の充実を図ってまいりたい。	子供未来局
子育て・子ども・教育 幼児教育無償化は女性の就労支援に寄与することが期待されていることから、幼児教育のより一層の充実を図るための預かり保育の推進や教諭の処遇改善を進める。	本市では、保護者の幼児教育・保育のニーズの多様化に対応するため、全ての幼稚園において預かり保育を実施してきたところである。引き続き、預かり保育に対する助成制度を活用するなど、私立幼稚園における預かり保育の充実に努めてまいりたい。 教諭の処遇改善については、子ども・子育て支援新制度の公定価格のもと拡充が図られてきている状況であり、本市独自で経験年数3年未満の職員に対する処遇改善を実施しているところである。 処遇改善は安定財源を確保しながら取り組むべき課題であることから、今後とも機会を捉えて、国に対して必要な要望を行ってまいりたい。 なお、従来制度の幼稚園に係る処遇改善については、県の私学助成の基本的な枠組みの中で検討されるべきものと考えており、その動向等を注視してまいりたい。	健康福祉局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 市民が平等にサービスを受けられる環境づくりの推進。特にコミュニティセンターの新設、修繕については紫山地区明石南地区をはじめ地域から長年の要望がある。どのようにしたら要望にこたえることができるのか真剣に取り組むべき。町内会活動(地域)の活動拠点の整備、町内会への活動助成の新設は地域活性化にむけて必要な視点。事業促進に務める。	コミュニティ・センターや市民センターについては、今後とも現行の配置基準を基本として対応を進めてまいりたい。 なお、宅地開発により人口が増加しているなど、特段の事情を抱えている地域においては、その事情や経緯などを十分に勘案し、住民の皆様のご要望を踏まえつつ、交流の場の確保について、市有財産の利活用や民間活力の導入も含めて、必要な方策を探ってまいりたい。 また、町内会への活動助成については、地域住民の福祉の向上、市政参加の促進を目的とした育成奨励金や住民活動の拠点となる地区集会所建設補助などを通じて引き続き支援してまいりたい。	市民局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 地区の体育館や公園施設内にあるスポーツ施設の環境整備に努める。また、スポーツの持つ力を再認識し、規律と自主性、チームワークを重んじるスポーツ教育を進める。	地区の体育館や公園施設内にあるスポーツ施設については、長寿命化を図りながら計画的な保全に努めてまいりたい。【市民局・文化観光局・建設局】 これまでも学習指導要領に則り、自主性、チームワーク(連帯感)等が培われるよう取り組んできたところであり、今後も継続してまいりたい。【教育局】	市民局 文化観光局 建設局 教育局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 避難所となる学校体育館へのエアコン設置等の寒暖対策を進める。	体育館へのエアコンの設置については、効率性や費用の点で課題が多いものと認識している。	教育局

要望事項 要望内容	回　答	担当局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 災害時を見据えた公園トイレの新設および改修。学校施設のトイレ改修促進に務める。	公園トイレについて、災害にも配慮しつつ、屋外トイレ設置基準に基づき新設を検討していくとともに、施設改修計画等に基づき計画的な改修を進めてまいりたい。【建設局】 学校の校舎や体育館のトイレ改修については、大規模改修工事や便器の交換による個別洋式化も併せて、今後も計画的に進めてまいりたい。【教育局】	建設局 教育局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 寺岡中・加茂中をはじめ修繕の追いつかない小中学校体育館の建て替えを含めた整備を進める。	学校の体育館の建て替えや改修等については、築年数や修繕履歴等の状況も踏まえ、優先度を見極めながら今後の対応を検討してまいりたい。【教育局】	教育局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 パークマネジメントの実施に伴い管理面積にみあった予算配分を行い、近隣住民参加型の緑地管理を進めるなど公園利活用においては前例にとらわれず積極的な取り組みを進める。 また、公園管理については地域との連携に積極的に務める。	仙台市の公園マネジメントにおいて、地域の特色ある公園づくり、地域に根ざした柔軟な運営管理と利活用等を進めてまいりたい。公園の運営管理の推進にあたっては地域団体との連携や育成について取り組んでまいりたい。【建設局】 公園管理にあたっては、町内会、公園愛護協力会や緑の活動団体などの地域団体との連携を積極的に図っており、今後も継続して行ってまいりたい。【泉区】	建設局 泉区
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 老化した街路樹の適正処理及び再整備等の際は、樹種などについて地域と十分な協議に務める。	街路樹の更新は、地元の皆様と樹種等について、協議をしながら進めてまいりたい。	泉区
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 長命館公園、七北田公園、桂島緑地などの公園の管理は利用上の安全対策を図るとともにトイレの洋式化や施設の改修・維持、樹木の剪定に関して予算化の取り組みを進める。	地元町内会や公園愛護協力会などの地域団体との連絡を密にし、トイレなどの公園施設の状況を把握しながら、利用者の安全対策の面も含め適切な維持管理に努めてまいりたい。	泉区
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 パークPFIなど民間活力を導入した公園整備や公民が連携した公共空間活用を進める。	公園の特性や周辺環境、利用者のニーズを把握し、事業の可能性も検証しながら、公民連携による公共空間活用について検討してまいりたい。	建設局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 公園、学校遊具の新設および改修を進める。	遊具の設置については、新たなニーズへの対応や複数の公園での機能分担など、地域の意見も踏まえながら検討してまいりたい。併せて遊具の改修や修繕等については毎年実施している遊具点検の結果を踏まえて対応してまいりたい。【建設局】 学校遊具については、定期点検等で状態を確認し、必要に応じて随時改修を進めているほか、校庭整備工事の際に学校の要望を踏まえて新設及び更新を行っている。【教育局】	建設局 教育局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 児童・生徒、高齢者にやさしい道路案内標識の新設を進める。	歩行者系案内誘導サイン等基本方針に基づき、児童・生徒、高齢者を含めた歩行者にわかりやすい案内に努めてまいりたい。	建設局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 野村地区をはじめ計画されている都市計画道路においては市民ニーズ、経済状況を鑑み課題の整理し推進・廃止等を含めて早急に道路整備を進める。	都市計画道路の整備については、事業中の区間の早期完成を目指してまいりたい。また、未着工の区間については、整備優先度を考慮しながら事業化に向けた検討を行ってまいりたい。 なお、都市計画道路網の見直しについては、道路交通を取り巻く社会状況の変化や、道路交通需要の現状と将来の見通しを踏まえ、その必要性について検討してまいりたい。	都市整備局 建設局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 野村地区外会病院前道路の4車線化の早期実現に努める。	主要地方道泉塩釜線の野村工区の4車線化については、現在、設計や用地取得を進めており、引き続き、早期完成に向け、事業を進めてまいりたい。	建設局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 泉パークタウン朝日地区の造成が進み、今後は交通量の増加が想定されるため、交通安全対策、渋滞対策の取り組みを進める。	泉パークタウン朝日地区の開発事業区域内及び周辺の道路の交通安全対策及び渋滞対策については、住宅の立地状況や交通量などを注視してまいりたい。	建設局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 通学路の優先的整備および幼稚園・保育園児の散歩経路の安全対策。 高森、虹の丘、松陵、泉ヶ丘3丁目8、9番地付近をはじめ、道路の白線が消えかかり、中心線や車道と歩道の区別がつかない箇所が見られる。 区内各所に見られる法定整備にかかる停止線・歩道識別線等の薄くなった白線は通学路を最優先に集中的な対応を進める。また、法定外整備においても仙台市が主体となって取り組みを進める。	(通学路の優先的整備について) 通学路については、毎年行っている通学路合同点検により確認された危険箇所について、これまでも優先的に対策を行っている。また、令和3年度に実施した緊急合同点検により確認された危険個所については、優先度を上げて対策を行うなど、今後も、通学路の安全確保のため、対策を行ってまいりたい。 (幼稚園・保育園児の散歩経路の安全対策について) 令和元年度に未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検で確認した危険箇所については、令和3年11月末で対策工事を完了したところである。 (道路の中心線等の薄くなった白線について) 車道のセンターライン・外側線および止まれ等の法定外表示など消えかかっている箇所については、通学路など必要性の高い箇所から優先的に対応してまいりたい。 (法定整備にかかる停止線・歩道識別線等について) 停止線等の交通規制標示の維持補修については、宮城県警察の所管となることから、毎年度実施している通学路点検などの機会を活用し、今後も継続して要望してまいりたい。	泉区

要望事項 要望内容	回　答	担当局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 熊・猪・ハクビシン対策の強化。 特にハクビシンに対しては現況、公的な支援策がとられておらず、多くの住民は困っている。 早急なる取り組みに務める。	ツキノワグマによる被害防止に向けては、「宮城県ツキノワグマ管理計画」に基づき「仙台市ツキノワグマ管理事業実施計画」を毎年度策定し、対策を実施している。 ツキノワグマは市街地近くの川沿いや住宅地周辺の緑地帯での目撃が多く、出没情報が寄せられた際に、地域や周辺の学校等への迅速な注意喚起や必要に応じ記者発表を通じた広報、専門家による誘引物等に関する現地調査を実施しているほか、特にクマが住宅地に留まるなど危険な場合には、緊急捕獲等の対応を行っている。 また、市メール配信サービス、ホームページへの「クマ出没情報マップ」や啓発動画の掲載、市政だよりや啓発講座等を通じ、クマの生態やクマに出会わないための注意点等をわかりやすく伝える等の啓発強化を行っており、今後も、引き続き取り組んでまいりたい。 ハクビシンによる被害対策については、住民から相談が寄せられた際に、防除対策や駆除方法について助言するとともに、必要に応じて、駆除を行う業界団体を紹介するなどの対応を行っており、これらの取組みを引き続き進めてまいりたい。【環境局】	環境局 経済局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 土砂災害危険地域において必要な防災対策を検討、実施に努める。	地域の災害リスクを認識していただくなど、ソフト対策としての避難意識と行動に寄与するため、最新のデータに基づく土砂災害のハザードマップを継続的に作成し、本市ホームページなどに掲載するとともに、ハザードマップや避難行動に関する説明会を開催し、市民への啓発を行ってまいりたい。【危機管理局】 土砂災害防止法は、ソフト対策の推進を目的に、宮城県が土砂災害警戒区域等を指定するものであり、周辺にお住いの方に対して、その危険性について周知し、早期の避難行動につなげるものである。 なお、土地の維持管理については、原則、所有者が行うものであるが、その点検方法等について、市民の皆様へわかりやすい広報が重要であると考えており、市HPや市政だよりへの掲載などにより、引き続き周知に努めてまいりたい。【都市整備局】	危機管理局 都市整備局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 大雨時の道路冠水箇所について過去の状況を鑑み、再度冠水がおこらないよう改善するため必要な措置を進める。	全庁的な雨水対策の一環である雨水対策緊急連携推進事業(スポット対策)において地域特性に応じた対策を図る予定である。	建設局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上	交番設置については、宮城県警察に継続要望しているところであり、今後も要望してまいりたい。	市民局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 泉中央駅、八乙女駅、黒松駅周辺、通学路等への防犯カメラ設置に対する支援を進める。	地域における自主的な防犯活動を補完するものとして、地域団体が設置する防犯カメラへ補助を行うとともに、令和3年度より更新・修繕に要する経費を新たに対象としたところであり、引き続き犯罪が発生する機会を減らすための環境整備を推進してまいりたい。	市民局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 信号機設置について市名坂堂林セブンイレブン付近、古屋敷橋前、高森1丁目ローソン前、加茂4丁目、松陵4丁目、長命ヶ丘プランチ前について市としても主体的に関わり、警察への早期整備を求め設置を進める。	古屋敷橋前については、古屋敷橋開通にあたり、交差点内のカラー舗装や防護柵などの安全対策を実施したところである。今後、交通状況を見ながら、交通規制で改善すべき点があれば、宮城県公安委員会に要望してまいりたい。 その他の箇所については、今後とも継続して宮城県公安委員会に要望してまいりたい。	泉区
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 泉区内の宮城交通のバス路線は減便が進み地域住民に深刻な問題となっている。 区としても主体性をもってバス路線の維持に努める。	宮城交通の路線バスで行われた減便は、事業者の経営判断によりなされたものであり、同社に対してサービス改善を求めるためには、利用者数を持続的に増加させていく必要があると考えている。	泉区
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 バスターミナルは一部移設を具体に検討するとともに地下鉄泉中央駅からの延伸について具体な調査・検討を進める。	令和4年3月に策定予定の「仙台市地域公共交通計画」に路線バスの利便性向上を位置付けており、地域住民の方々と意見交換を行いながら各種施策を実施することでバス利用者の増加や持続可能な移動手段の確保に向け取り組んでまいりたい。 泉中央駅バスターミナルについては、現有機能の活用を最大限に図るべく、バス待機スペースの不足に伴う混雑への対応として、泉中央駅バスターミナルにおける待機時間のルール化など、交通事業者と連携し環境改善に努めてきたところである。 現在、民間活力の導入による泉区役所建替えの検討を進めており、建替えに合わせた駅周辺のバス待ち環境の改善や、バスの円滑な運行・定時性確保、渋滞緩和等、泉中央駅周辺の更なる交通環境の改善を図ってまいりたい。 なお、現時点で延伸の計画はないが、地下鉄泉中央駅から先への延伸は、多額の整備費用やランニングコストを賄うだけの新たな需要の獲得が不可欠である等、課題が多いと認識しており、本市全体における将来的なまちづくりの視点から幅広い議論が必要になるものと考える。	都市整備局
安心・安全なまちづくり・市民生活の向上 加茂、虹の丘、松陵、鶴が丘、泉ヶ丘など区内各町内会から要望の多い草木の剪定、除草、草刈りなどについて必要な策を進める。	道路通行および生活環境に支障をきたさないよう、必要に応じて剪定、除草、草刈りなどの対応を行ってまいりたい。	泉区